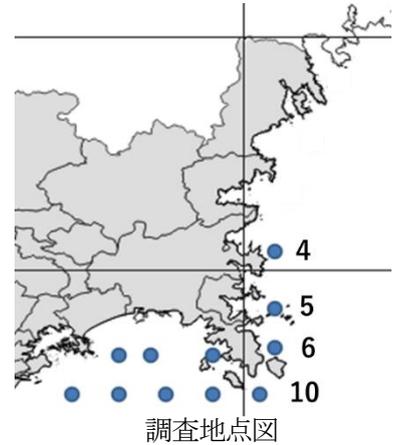


令和7年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.2)

令和7年5月2日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和7年5月1日
- 2 調査地点 右図の4定点(St. 4, 5, 6及び10)
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で10.0~10.7℃の範囲にありました。
 - 2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は20~130 細胞/L 確認されました。
 - ・下痢性貝毒原因プランクトン *D. fortii* が0~20 細胞/L、*D. acuminata* は20~140 細胞/L 確認されました。



調査結果表(4定点)

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				5月1日	4月18日	5月1日	4月18日	5月1日	4月18日	5月1日	備考
4	5月1日 11:35 84.2 m	8.0	10.4	130	40	10	20	140	200	0	
5	5月1日 10:54 39.7 m	8.0	10.4	30	60	0	0	30	0	0	
6	5月1日 10:03 65.7 m	8.0	10.7	20	80	20	10	20	20	0	
10	5月1日 9:12 83 m	9.0	10.0	70	150	0	10	30	0	0	